

レジメン名

rituximab+VP-16

出典

リツキシマン点滴静注適正使用ガイド2022年12月改訂
リツキシマブB8点滴静注「ファイザー」添付文書2023年9月改訂
ラストテットカプセル添付文書

実施部署区分

☒入院 ☒外来 ☐処置

対象疾患

CD20陽性B細胞性NHL

☒進行・再発
☐補助療法(術前・術後)
☐初発
☐

投与減量の基準

その他	エトボシド:年齢やPSIによって適宜25mg/bodyへ減量		

投与中止の基準

その他			

1クール期間 28日

総クール数 PDまで

(次のクールまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度 (時間)	投与日(d1, d8等)
リツキシマブ	375mg/m ²	輸液 1-4mg/mLに 希釈	初回は 50mg/hr から漸増 ^{※1}	d1
エトボシド(ラストテット)	50mg/body	経口		d1-21
※1 初回リツキシマブの投与速度は50mg/hrで開始し、問題なければ30分毎に50mg/hrずつ上げて、400mg/hrまで上げることができる。 2回目以降、速度を選択することができる。 ①初回投与時に副作用が軽微であった場合、2回目以降は100mg/hrで開始し、30分毎に100mg/hrずつ上げて、400mg/hrまで上げることができる。 ②臨床上に重篤な心疾患がなく、初回投与時に副作用が軽微であり、かつ投与前の末梢血リンパ球数が5,000/mm ³ 未満である場合、90分間で投与(最初の30分で投与量の20%を投与し、その後60分で投与量の80%を投与)することができる。				

1日投与順 (経時的にプレメーション・ポストメーション、溶解液まで含む)
day1 ①アセリオ(1000)500mg+ボララミン5mg(15-30min) ②リツキシマブ375mg/m ² +生食適量(50mg/hrから漸増 ^{※1}) ③生食50mL(フラッシュ用)
day1-21 ①ラストテットカプセル50mg(po)